

そげっば通信

9月



●あなたと市民センターをつなぐ情報紙

曾慶市民センター
 曾慶字神蔭32-1
 ☎ 0191-75-2244
 FAX 0191-34-6630
 Email: info@yuinet-sogei.com

一関市花いっぱいコンクール

曾慶の花壇が多数入賞!

2023年度一関市花いっぱいコンクールが開催され、全体審査と地域審査が行われ、結果が発表されました。

その結果、今年度も曾慶地区の団体・個人が多数入賞しました。曾慶地区の入賞花壇は次のとおりです。受賞された皆さんおめでとうございました!



審査員特別賞・最優秀賞

市全体審査で審査員特別賞に輝いた佐藤和子さん(2区)の花壇

- ◆市全体審査：◇審査員特別賞Ⅱ佐藤和子さん(2区)
- ◆地域審査：◎大規模花壇部門 ◇地域の部▽奨励賞Ⅱ前ノ沢花の会 ◇個人の部▽最優秀賞Ⅱ佐藤和子さん(2区)
- ◎一般花壇部門▽奨励賞Ⅱ曾慶第1区自治会、同2区自治会
- ◇学校・企業の部▽奨励賞Ⅱ曾慶市民センター◇個人の部▽最優秀賞Ⅱ佐藤和子さん



奨励賞

曾慶第1区花壇(奨励賞)



最優秀賞

佐藤ふじじ子さんの花壇(個人の部最優秀賞)



奨励賞

曾慶第2区花壇(奨励賞)



奨励賞

前ノ沢花の会の花壇(大規模花壇部門奨励賞)



奨励賞

曾慶市民センターの花壇(奨励賞)

今年は長雨や猛暑等、天候不順の中での花壇の管理は大変だったと思いますが、地域の皆様には見事な花壇を整備していただき、素晴らしい結果となりました。花がいっぱいの地域づくりを推進していただき感謝申し上げます。表彰は10月25日(水)に開催予定の一関市民憲章推進大会の席上で表彰されます。

そげいびと

⑰ 佐藤秀昭さん(79)・和子さん(81)～曾慶字横道～



市花いっぱいコンクール
審査員特別賞に輝く

自宅前に見事な花壇を整備し、毎年のように市花いっぱいコンクールで入賞を続けている佐藤秀昭さんと和子さん夫妻からお話を伺ってきました。

お二人がコンクールに出すようになったのは、市町村合併直後の平成18年から。当時の表彰状は一関市長名だった。翌年から協議会になった」と話します。以来17年間、毎年コンクールに挑み、ほぼ毎年入賞しています。「入賞が目的ではない」と話しますが、それでも「賞に入ると励みになる」とにっこり。今年の花壇はアグラタム、マリーゴールド、サルビア、ハツユキソウ、ヒマワリ、アサガオ…と彩りやコントラストを考え、立体的に花壇を設計しました。花壇の設計をするのは秀昭さんで、「私は管理するだけ」と話

す和子さん。苗は買わずに全て種から育て、夫婦の連携で見事な花壇に作り上げます。天候の影響もあり、審査の時期に見頃になるよう咲かせるのが一番大変だと話します。今年は悪条件の中でも、地域審査で最優秀賞、市全体審査では見事に審査員特別賞とダブル受賞に輝きました。今年度は3年前まで設計していた2区自治会花壇も入賞し、喜びもひとしおです。

花作りを楽しみながら トマト作りを続けたい

秀昭さんはかつては稲作や葉たばこも栽培していましたが、若い頃は出稼ぎで静岡の自動車メーカーで働いた経験もあります。トマト栽培は30年ほど前から取り組んでいて、最大8棟のハウスの時期もありましたが、現在は規模を縮小し3棟で生産し出荷しています。収穫作業は朝5時過ぎから行い、産直や青果市場への出荷も行います。今年は猛暑が続いてトマトの管理も大変で、花もトマトも天候との戦いです。加えて、肥料や薬剤の高騰や一関の青果市場の閉鎖と厳しい条件も重なり、苦勞も多いようです。

今年から80代を迎えるようには見えない若々しいお二人にとって、時々顔を出す仙台にいるお孫さんの成長は楽しみの一つ。今後については、花作りを楽しみながら、夫婦二人三脚でできるだけ長くトマト作りを続けていければと笑顔で話します。

曾慶の人口と世帯数

令和5年9月1日現在

| 行政区 | 世帯数 | 男 | 女 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|------|
| 1区 | 28 | 35 | 27 | 62 |
| 2区 | 69 | 98 | 94 | 192 |
| 3区 | 53 | 68 | 78 | 148 |
| 4区 | 49 | 66 | 74 | 140 |
| 5区 | 65 | 78 | 70 | 148 |
| 6区 | 40 | 62 | 58 | 120 |
| 7区 | 29 | 42 | 42 | 84 |
| 13区 | 33 | 49 | 40 | 89 |
| こはぎ荘 | 45 | 18 | 27 | 45 |
| 合計 | 412 | 516 | 510 | 1026 |
| 前月比 | 2 | 2 | 2 | 4 |



曾慶百景 五百水 いっぴゃくみず

前ノ沢から市道を大原の大久保方面に上っていくと、道の勾配がなだらかになり、視界が開けて美しい棚田が目に入ります。これは、『東磐井の棚田20選』にも選ばれた五百水棚田です。「五百水」の由来は古来の伝承によると、「昔、殿様が巡視の際に水が欲しくなり付近の農家に水を求めたところ、部落民は喜んで水を献げ、殿様はお礼に五百文を与えた。以来、五百水と称し、その徳を現代に伝えている」とあります。

4年ぶり 曾慶地区芸能祭を開催

新型コロナの影響により開催を見送っていた曾慶地区芸能祭ですが、8月29日の三役会議で検討した結果、今年度は時間を短縮し内容を見直しして、4年ぶりに開催をすることが決まりました。

記

◆日程…11月26日(日)

午後1時～4時頃

◆内容…▷ミニライブとしてウクレレシンガーのツジヤマガクさんのライブを実施 ▷各自治会や団体等からは1演目以内の参加



▷芸術文化団体や会主さん等からの出演 他

◆詳細については、10月19日(木)に実行委員会で話し合いますので、それまでに各団体等で演目等を話し合っておいてください。

(後日、実行委員会の案内をします)

曾慶体育協会からのお知らせ

◎ 第10回 グランドゴルフ大会

◆日時…10月29日(日) 13:30～

◆会場…曾慶グラウンド

◎ 第22回 ニュースポーツ大会

◆日時…11月5日(日) 13:30～

◆会場…曾慶体育館

◆競技…ポッチャ



★秋の交通安全運動スローガン★

「夕暮れの ライトは迷わず 早めから」

お知らせ

曾慶地区文化祭の作品募集

9月20日の関係者打合せにおいて、今年度は「曾慶地区文化祭」として開催することが決まりました。団体・個人の作品を募集しますので、どんどんご応募ください。

◆日程…11月4日(土)、5日(日)

◆会場…曾慶地区センター

◆出品方法…個人作品は、11月1日(水)までに出品票を添えて市民センターにお申し込みください(出品票は市民センターにあります)。自治会等の団体は団体毎に取りまとめてください。

※ 詳細は後日お知らせします。



農村公園の草刈 参加者募集!

曾慶農村公園の草刈を行います。曾慶農村公園には明治維新以降の戦争で犠牲になられた旧渋民村の戦死者の方々を慰霊する忠魂碑が建立されています。地域の貴重な歴史遺産として、自治連、遺族会等共催により草刈等の環境整備を行います。自由参加ですので、地域の皆様のご参加をお待ちしています。

記

◆日時…10月9日(月) 朝6時30分～現地集合

◆草刈機等持参でご参加ください。燃料、お茶、パン等は結いネットや遺族会で準備します。

忠魂碑の写真ありませんか?

◎曾慶農村公園造成の際に、土が盛られたために忠魂碑の高さが1m近く低くなっています。公園が設置された昭和58年以前の盛土前の忠魂碑の様子を写している「写真」をお持ちの方は、曾慶市民センター(☎75-2244)までお知らせください。

農機バンク

* 農業機械 “など”

ほしい人といらぬ人の情報交換コーナー*



《売りたい》

◎田植え機(クボタ/IS600R/6条/ロータリー爪) ◎オート播種機(苗箱) ◎バインダー(ヤンマー/BE25/湿田タイヤ付/6角タイヤ) ◎ラクター(クボタ) ◎田植機(クボタ/2条/歩行型) ◎コンプレッサー(日立/200V) ◎井戸ポンプ(テラダ製・新品) ◎籾精米機(丸七製作所/M2/原動機なし) ◎ディスクハロー(180cm巾) ◎ハーベスタ(ヤンマー) ◎米選機(サタケ/GPA330/100V/デジタル計量器付) ◎金網製トレー(120×60×3cm) ◎芝刈機(ナショナル/EY2272/100V/電動) ◎管理機(クボタ/TR-6/6.2馬力) ◎餅つき機(フジコレーディング/MT-330/3升用/未使用) ◎ハロー(2m/クボタ/HMT2010BKA/24馬力に使用) ◎チェンソー(ヤンマー/YSK/400) ◎トリマー(マキタ/MUH3652/100V)

① 《買いたい》

①小型トラクター ②動力噴霧機 ③管理機 ※写真入りの最新情報は市民センターで閲覧できます。

秋のウォーキング教室

大崎市・羽黒山公園を歩く

曾慶市民センター主催による「秋のウォーキング教室」が大崎市の羽黒山公園周辺で行われました。同公園は彼岸花の名所として知られていますが、連日の猛暑により開花が遅れ、花はまばらだったものの、地区内外から参加した18名は爽やかな気候のもと、初めてのコースを楽しみながら歩きました。ウォーキングの後は「あ・ら・伊達な道の駅」で買い物や食事を楽しみました。参加者からは「公園の中腹には彼岸花が100～200本咲いていて満喫できた」といった感想がありました。



彼岸花が咲く中でみんな集合写真

曾慶地区福祉活動推進協議会

長寿をお祝いし敬老事業実施

笑顔で
敬老者の
皆さん
13区自治



曾慶地区福祉活動推進協議会では、一堂に会しての敬老会は行わないことから、敬老者の方々に対して記念品を贈ったほか、各自治会等で行う敬老事業に対して助成を行いました。

このうち13区自治会では『敬老の日』の9月18日(金)、敬老会を行って皆さんで健康長寿をお祝いしました。今年度自治会単位で敬老会を行うのは13区自治会を含めて8自治会のうち4自治会。他の自治会では、独自の記念品を贈って喜ばれました。

曾慶地区で今年度80歳以上を迎える方は193人で、昨年度の203人から10人減少しました。

第2回スマホ教室

災害時のスマホ活用等を学ぶ



少人数ならではの濃い教室になりました

9月8日(金)、今年度第2回目のスマホ教室を開催しました。今回の参加者は4名。ドコモショップー関東店の大畑さんを講師に迎え、アプリのインストールのやり方や、災害時のスマホの活用方法などを学びました。前回よりステップアップした内容でしたが、大畑さんに丁寧に教えてもらい、一人ひとり質問をしながら真剣に学んでいました。昨年からの複数回参加した受講者さんもあり、「これからもっとアプリをうまく活用できたらいいな」といった感想等がありました。

秋の剪定教室

実践を通して剪定技術を学ぶ



アジサイの剪定を行う受講者の皆さん

9月15日(金)、結いネットそげいの花いっぱいチームと曾慶市民センター共催による「秋の剪定教室」を開催し、地区内外から参加した受講生12名が実践を通して技術を学びました。講師を務めたのは、曾慶教室でおなじみの一級造園技能士の鈴木隆廣さん(大原)。参加者は剪定のポイントなどの指導を受けながら作業を行い、休憩を入れて2時間ほどで市民センター周辺の植木等はスッキリと見違えるようになりました。暑い中の教室でしたが、この日は特産品開発チームの皆さんによる打ち立てそばの提供もあり、思いがけないご褒美に舌鼓を打っていました。